

地域探究類型、企画展「いにしへの修学旅行」を鑑賞！

【令和7年7月11日】



地域探究類型の2年生が中山道みたけ館企画展「いにしへの修学旅行」を鑑賞しました。企画展は同類型の生徒が、『地域のことを「知る・学ぶ」と面白くなってくる』という題目で講話をしていただいた



郷土史家廣瀬五郎様のご尽力で開催されるに至ったものです。しかし廣瀬様は不慮の事故で先日亡くなられ、当日は廣瀬様の長女の酒井美香様のご案内で鑑賞をさせていただきました。酒井様には前日、学校を訪問していただき、地域探究類型の授業でもご助言をいただいている

ます。県内の修学旅行は明治20年が最初とされるが、本校の前身である東濃中学校では、開校した明治29年に初の修学旅行として多治見町(現、多治見市・1泊)へ出かけ、明治31年には4泊5日で伊勢参拝の修学旅行が実施されたそうです。生徒たちは今後、廣瀬様のご遺志を少しでも受け継ぎ、地域探究を進めていきたいと考えています。なお、展示は年表や旅程、当時の写真などが紹介されており、本校所蔵の資料も展示されています。ぜひご鑑賞ください。開催は8月31日(日)まで。

